

障害者の方と地域のつながり



夏休み期間中の「ボランティア体験プログラム」の2回目として、東大阪市内にある社会福祉法人「アクティビティセンターひびき」にて、第2班の3名がボランティアを行ってきました。「ひびき」は、知的障害や身体障害をもっておられる方のための作業所です。

「ひびき」では、毎年夏に、障害をもった方のためにお祭りを開催しています。このお祭りには地域の方も参加でき、障害をもった方と地域の方の交流の機会を作っています。第2班の商大メンバーは、障害をもった方のために各種の夜店のお手伝いをしました。「ひびき」の皆さま、どうもありがとうございました。



参加した学生の声

初めは何をしていいかわからずただ立っただけでしたが時間が経つにつれ慣れていき障害者の方や一般の方もたくさん来られて、「ありがとう」という言葉がとても嬉しかったです。これがボランティアの醍醐味だなと実感しました。また機会があれば参加してみたいです。

当日はすごく暑く、忙しかったので、汗だくになりました。時間が早く過ぎて、終わった後、達成感がありました。今年の夏休みはたいして何もしていなかったので、参加させて頂けて良かったです。他のボランティア活動にも参加し、地域社会の問題の解決に向けて取り組みたいと思いました。

【第2班 井上翔太・戸床祥太・山本隼輔】

